

人の一生を重き荷とし、遠き道を急ぐ可

やい」と多勢の百姓が引廻して来る。馬、コッパ悪い役に出づつた。又多勢が色んな物を焼やあらがな、汝等左衛門など中へはアらぬぞ、早くいつてマツタケに奴を鎮める。斯くいたして居るから容易に傳吉の處刑が行ばれない。はや黄昏前だといふ時分、馬に鞭打つて衆込んで来たのが皆番主・乗人も罵もビシヨクと汗に塗れバツツと駈て来た高田町、百姓等の方はそんな時に死する憂懼、口を結んで控へて遭つた上にならぬ中へ傳吉を下した。泉河原に参りまして、ボツと竹矢赤がにだから容易のことぢやアない、漸かに京原に參りまして、ボツと竹矢赤がに近寄るやうに」此らが前に引廻すんだぞ、役控へろ」集まつて騒ぎ立る中を我投控へろ」妙答としては不可得

平島併合の機、秋晴れの空に澄める  
 旅人の心に、タラ一様の蕭々ありて天  
 の涯にかゝるかの如き覺えを有する節あ  
 り、未だ鐵道官制の發表を見ざるが  
 爲めなまじり去れて官制の發布は延旬  
 日の近きに在りと聞けば、待つ身にも  
 水から水に渡り、氣を掻きよは、及びねど  
 のらねばならぬ。

假令此種を食せざれば爲るは船はす  
 假し他の領分を食ふ可法は強食する  
 ことなどすること若し可法は強食する  
 ならざることあるは由々しき大事なり  
 是太ればヨヘて欲しき者も也。ナ  
 り、想像を過すれば併合の端しに浮  
 れ、無様に昂よれる心の可く無く打ち  
 沈み行くを觀め、歸途々々

歴と稱する場合には廣く日本帝國  
 土の地理歴史を授くるべく一單に朝鮮  
 歴史を以て本國地理歴史と稱す  
 ならざるは無論の事にし、教科書  
 方に就ても、不日適當する事項は可  
 なり、此際不適當と認むべき事  
 適宜斟酌して之が説明をなさしめ  
 教科目の教材選擇及取扱にありて

全地用可同他は  
前二回試煉の結果大に發明する處  
より越は同所製に類る他同量量は舊  
より一層分量を減じ貯藏の便と爲り  
は雜種の點に於て改良を加ふる鮮餅  
にされば成熟の上は母國米に譲ら  
る風味を有すべしと因に同成熟は十  
二三日頃の豫定にして同時に況く舊  
の手續に及ぶべしと

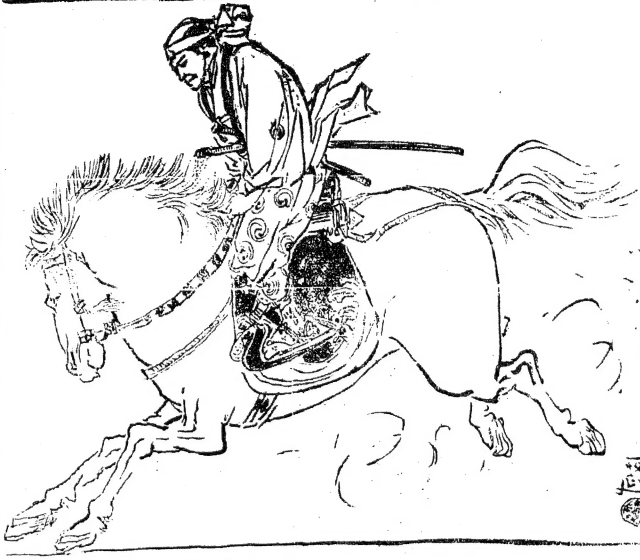
大岡越後傳吉

\_\_\_\_\_

くたこの馬をば思ひ切り飛

で旦那の首を斬るんだから、石や」と田舎者だけに大きな聲で話してを放つ附さうやいど、ふんど忍ら多勢ある、それを聞てビタリと馬足を止さ

1



やい、と多勢の百姓が引越して来る。馬の四邊でワァ、ワァと驚き立てる中を、役「控へろ」――物事を立てるに可なり近寄るな――叱りながら引越す。河原に盛りのこぢやない、潮が結越してある中へ、傳吉をドツと下した蓮の上に懸らせられ、傳吉はもうこの時に死る覺悟、口を結んで控へて居る。太刀の役人、其所へ出る、これは善射役人、矢先の外は黒山の人、一圓、駄目だね、小旦那、扶けてくれなや、扶けな、小旦那、扶けてくれなや、と呼はれるとワァッといふ聲、波の聲、一同で、刀、持つて出をつた、ものの刀

●意

注

米國プロクター、エンド、ギャンブル會社製食品

飯田健太郎

電話

●意

注

Procter & Gamble, Cincinnati

SOAP

勿ルカ欺

ミ  
ン  
ヘン  
ビ  
ル



酒精分少く  
滋養令多きは  
本ビールの  
特色なり

飲料界の未曽  
有の好評を  
博せる寶は  
偶然にあらず

[illegible]



る露ふ  
山と探  
元來紅參の價貴きは實際の効顯よりも  
價格に最上分約百七十圓に上るといふ

山のふ 一種の貴重品扱ひに係るものにして是  
に獎勵を飾るに金帛鐘鼎を以てし清國人向苞  
安薩雲 直として最適と稱せらる藥用としては

めに鴉片毒緩和と稱することも實際は強滋用として服用する物の如く服用者も老人ならざる限り壯者は隱蔽せり清

原  
 だらう  
 は尙苦  
 高百兩即ち約百三十五圓内外なりと  
 ▲結論 以上病害により産額上至大の  
 打撃を受けたる他產品の成育亦た佳良

ならず兩者相待ち甚大の損失を被りし  
も本年度舊國が收穫期に入ると同時に  
質は固より産價に於ても優に回復さる

獨前殖相の入京

此の如く、獨逸前駐民大臣デルンツプ  
氏は二十三日夜行列車にて釜山出發  
二十四日午前八時入京の筈なり

●京城八月中の物價  
京城八月中の物價にして前七月に比し  
騰貴を見しは米、大豆、洋金巾、清酒、麥

粉、バインアプル、鐘詰、浪板、鉛引、  
油、舶來、バテ、牛骨、牛蠟、牛皮、石油、  
油、松材、杉材、ホワイシンク油、和製桐

九年前に  
 始めたり  
 如きは  
 檜系、牛肉、平板鉛引、土工用道具、鐵  
 檜、杉、松、大角、杉、實、和製、コイルター、セ  
 マント等なり

● 商工調査の結了期

ものゝれど當局者の談によれば右は全盤に於ける調査にして其調査事項の品目のみにても十頁餘に亘れるものなれ

に非らず惟ふに明年末頃にあらざるよりは全部の結了を見る能はざるべし

●**獨逸大使館附武官**  
日本駐在獨逸大使館附武官男爵ベルチ  
ウイツチ大尉はフオンブアルケンハ  
ウジン大尉及ババンク中尉と並へ約三

●大久保司令官巡視

大久保駐劄軍司令官は廿二日軍司令官  
々邸前の兵營を巡視されたり

▲栗木智堂(曹洞宗文學士) 二十一日  
釜山より入京し浦尾旅館に投宿す  
▲安武千代吉(辯護士) 廿一日釜山發  
▲松本多賀司(漢城道會社支配人) 同上  
▲南島義典(同上) 同上

▲上林敬次郎(度支部參政院員)開城行  
▲加藤正惠(貴族院議員)平壤行き  
▲石黒芳太郎(ニュージランド保險會  
社出張員)二十一日夜行列車にて入

て左の件決議せしど  
一、併合の總果國債なる名稱は不穩に  
就き今後金名も變更して教育基金會  
京し永樂町二丁目廣原商會に投資す

一、從事の役員は其職を任する事  
土地の買収は適當なる賣却地あれ  
ば、選代表者及事務員協議の上決行す

東京電報

▲條約談判と關稅

各國

この條約改正談判は近日中愈開始さるべく關稅問題に於ける英國との



洋服部  
電話二〇番  
分店

屋 子 丁

目  
 電話 八七番  
 會韓國支店  
 主任として在勤中  
 候然るに今回當支  
 前記の如く代理店  
 に候得へば相變ら  
 電話 三〇二番  
 商 店  
 韓國支店  
 川 太 郎 吉

店を構へ居り候處  
連益々盛大に趣候  
の日韓合併は遂行  
なり總べての交通  
は從來の如く外國  
無之次第と相成候  
を代理店として支  
店は本店大阪へ引  
引立の程奉願候

東京電報

談判と關稅

各國

部服洋屋子丁  
 (番〇二二話電)目丁二町本城京  
 店分屋子丁  
 (番三二、番〇九六話電)目丁三通門大爾城京

堅牢  
 廉價  
 山崎鐵  
 新案  
 元大び。已た  
 和洋各物各種  
 本店  
 目丁一  
 店商原業  
 番三八四  
 店張曲元  
 角四八番五町五中本城京